

令和5年度

教育委員会事務の点検及び評価報告書
(令和4年度実績)

千 曲 市 教 育 委 員 会

目 次

1	はじめに	1
2	実施の方法	2
3	評価シート(主要な施策の評価に関する説明書)	4
4	成果指標	15
5	外部評価での意見・提言とそれに対する考え	17
6	点検及び評価を受けて	19
7	資 料	
	教育長・教育委員	20
	教育委員会基本方針	20
	令和4年度教育委員会議及び議決案件一覧	23
	教育委員会事務分掌	27

1 はじめに

平成 20 年 4 月から、教育委員会は地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することとなりました。

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされており、千曲市では千曲市教育振興審議会による外部評価を加え、点検及び評価を行うこととしています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律【抜粋】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

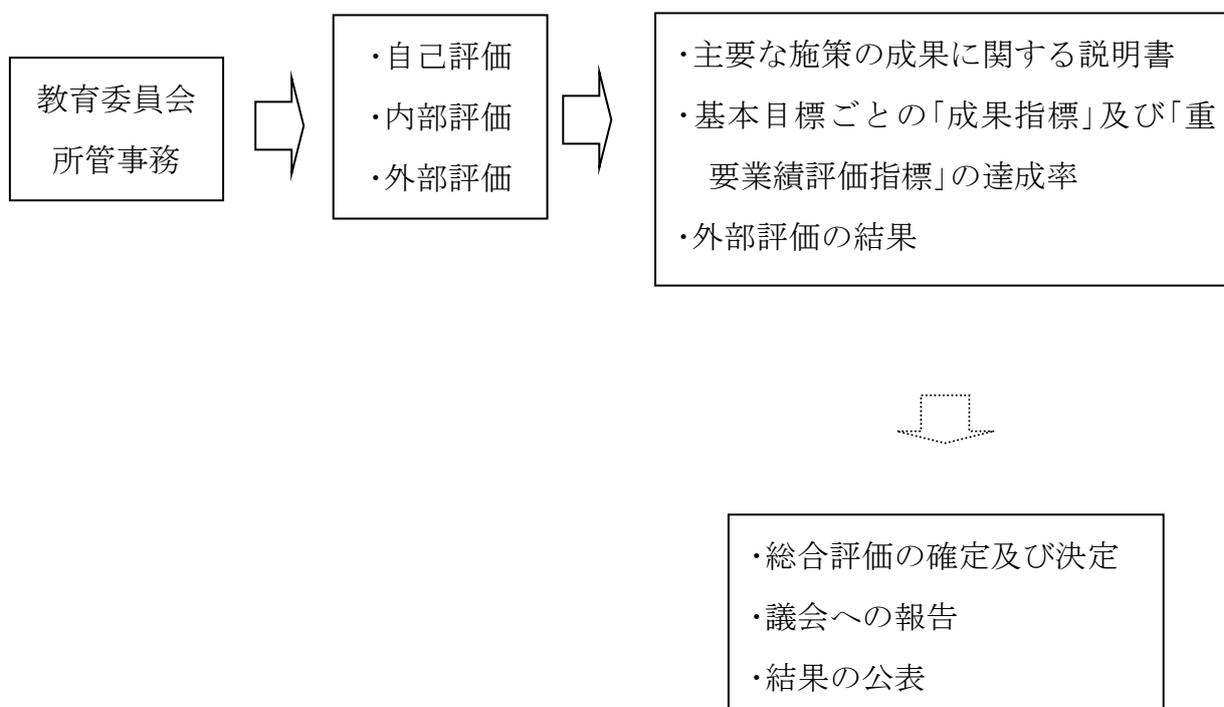
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 実施の方法

(1) 点検及び評価の方法と手順

点検及び評価の対象は、教育委員会の権限に属する事務のうち、前年度に実施した主要施策並びに第二次千曲市総合計画「成果指標」（千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」）の対象事業とします。

- ① 担当課長は、「主要な施策の成果に関する説明書」及び「成果指標」等の内容を踏まえて、**自己評価**をします。
- ② 教育部で自己評価を検証し、主要な施策の成果について**内部評価**をします。
- ③ 千曲市教育振興審議会が、「主要な施策の成果に関する説明書」により、**外部評価**をします。
- ④ 教育委員会において「担当課の評価」及び「外部評価委員会の評価」を踏まえて**総合評価**の確定及び決定をします。



(2) 千曲市教育振興審議会委員

氏名	役職等	備考
宮崎 樹夫	【会長】信州大学副学長	学識経験者
山崎 俊子	千曲市校長会 会長	東小学校長
柳澤 正寿	中学校長 代表	屋代中学校長
唐木 文子	【幹事】更埴PTA連合会 会長	PTA代表
宮原 純平	更埴PTA連合会 副会長	PTA代表
池田 秋政	千曲市公民館運営協議会 会長	生涯学習推進団体
塚田 訓好	特定非営利活動法人 千曲市スポーツ協会 会長	スポーツ振興団体
亀山 正明	千曲市文化芸術協会 会長	文化振興団体
久保田 英雄	元県生涯学習文化財課指導主事	歴史文化学識経験者
君島 一字	【副会長】一般公募	公募
滝沢 祐子	一般公募	公募
田島 仁	【幹事】一般公募	公募

3 評価シート（主要な施策の評価に関する説明書）

事業名	教育の充実	担当課名	教育総務課
-----	-------	------	-------

教育振興基本計画 基本目標 I 施策 1-1

事業費		主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">決算額(円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">37,322,271</td> </tr> <tr> <td colspan="2">節別内訳(円)</td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>18,216,219</td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>7,984,498</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>33,670</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>441,648</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>548,957</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>107,351</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,742,400</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>8,107,528</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>140,000</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td></td> </tr> </table>		決算額(円)		37,322,271		節別内訳(円)		報酬	18,216,219	給料、職員手当等	7,984,498	報償費	33,670	旅費	441,648	需用費	548,957	役務費	107,351	委託料	1,742,400	使用料及び賃借料	8,107,528	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	140,000	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		<p>【事業目的】</p> <p>①GIGA スクール構想 一人一台端末や ICT を活用した学習により、主体的・対話的で深い学びの実現に取り組む</p> <p>②ふるさと学習 地域の文化等を学び、「ふるさと」に誇りと愛着を抱くことのできる教育を推進する</p> <p>③不登校児童生徒対策 支援を必要とする児童生徒に対応するため、教育相談やすこやか相談、教育支援センターの充実を図る</p> <p>【実績】</p> <p>①インタラクティブスタディ（デジタル教材）による、各自の理解に合わせた学習</p> <p>②・総合的な学習の時間を中心に、地域の歴史、文化等を学習 ・令和4年11月19日に上山田文化会館にて治田小学校、更埴西中学校が「ふるさと学習」発表会を実施</p> <p>③・教育相談延べ相談件数 718 件 ・すこやか相談延べ相談件数 653 件 ・教育支援センター通室者 40 名 ・教育支援センター運営マニュアルの更新（利便性の向上） ・チャイルドサポーターの配置</p> <p>【成果等】</p> <p>①一人ひとりの理解状況に応じた、主体的・対話的で深い学びを促進する学習を支援した。また、家庭学習での活用も進めた。</p> <p>②児童生徒が郷土の良さを知ることができた。また、学習した歴史・文化などについて発信を行った。</p> <p>③教育相談室において、支援を必要とする児童生徒を早期に見出すため、教育相談等に取り組んだ。また、市内5箇所の教育支援センターにて、教室に通うことができない児童生徒を支援した。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>①端末活用の高まりに伴い、インターネット上のコミュニケーションに必要な、デジタルシチズンシップ教育の推進を図る。</p> <p>②千曲市で育つ児童生徒に、郷土に誇りと愛着を持ってもらうことは、将来の定住にもつながる。引き続き学習の中にふるさと学習を取り入れていく。</p> <p>③不登校児童生徒は増加傾向にある。要因は多様であり、未然防止対策は簡単ではない。対応できる相談員（心理師等）・教職員（適応指導員）の確保や支援体制の充実を図る。</p>
決算額(円)																																								
37,322,271																																								
節別内訳(円)																																								
報酬	18,216,219																																							
給料、職員手当等	7,984,498																																							
報償費	33,670																																							
旅費	441,648																																							
需用費	548,957																																							
役務費	107,351																																							
委託料	1,742,400																																							
使用料及び賃借料	8,107,528																																							
工事請負費																																								
原材料費																																								
公有財産購入費																																								
備品購入費																																								
負担金、補助及び交付金	140,000																																							
扶助費																																								
補償、補填及び賠償金																																								
公課費																																								
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">財源内訳(円)</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>200,000</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>36,722,271</td> </tr> </table>		財源内訳(円)		国庫支出金	400,000	県支出金	200,000	地方債		その他		一般財源	36,722,271																											
財源内訳(円)																																								
国庫支出金	400,000																																							
県支出金	200,000																																							
地方債																																								
その他																																								
一般財源	36,722,271																																							

事業名	就学援助の拡充	担当課名	教育総務課
-----	---------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策1-1

事業費		主要な施策の成果等																																														
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">決算額(円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">52,237,445円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">節別内訳(円)</td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>3,810,100円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td>48,427,345円</td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td></td> </tr> </table>		決算額(円)		52,237,445円		節別内訳(円)		報酬		給料、職員手当等	3,810,100円	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料		使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費	48,427,345円	補償、補填及び賠償金		公課費		<p>【事業目的】 経済的理由により小・中学校への就学困難な児童・生徒に対して、学校給食や学用品などの援助をし、すべての児童・生徒が義務教育を円滑に受けることができるようにする。</p> <p>【実績】</p> <table> <tr> <td>対象児童生徒数</td> <td>448名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48,427,345円</td> </tr> <tr> <td>うち オンライン通信費</td> <td>4,204,671円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>25,149,766円</td> </tr> </table>	対象児童生徒数	448名	合計	48,427,345円	うち オンライン通信費	4,204,671円	学校給食費	25,149,766円
決算額(円)																																																
52,237,445円																																																
節別内訳(円)																																																
報酬																																																
給料、職員手当等	3,810,100円																																															
報償費																																																
旅費																																																
需用費																																																
役務費																																																
委託料																																																
使用料及び賃借料																																																
工事請負費																																																
原材料費																																																
公有財産購入費																																																
備品購入費																																																
負担金、補助及び交付金																																																
扶助費	48,427,345円																																															
補償、補填及び賠償金																																																
公課費																																																
対象児童生徒数	448名																																															
合計	48,427,345円																																															
うち オンライン通信費	4,204,671円																																															
学校給食費	25,149,766円																																															
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">財源内訳(円)</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>52,237,445円</td> </tr> </table>		財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	52,237,445円	<p>【成果等】 一人一台端末による家庭学習に対応するため、オンライン通信費を援助費目に追加した。また、給食費を定額支給から保護者負担の実費相当分に引き上げたことで、保護者負担の軽減を図ることができた。</p> <p>【今後の方向性】 子育て世帯の経済的支援として、就学援助費は重要な事業であるが、市単独事業であるため予算確保が課題となる。 対象者の選定、援助費目の設定などについては、他市町村の状況も注視しながら、本当に支援を必要としている人に支援の手が届くような制度設計を行っていく。</p>																																		
財源内訳(円)																																																
国庫支出金																																																
県支出金																																																
地方債																																																
その他																																																
一般財源	52,237,445円																																															

事業名	市民講座開設事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策3-1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">決算額(円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1,616,110円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">節別内訳(円)</td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>1,088,600</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>9,390</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>518,120</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td></td> </tr> </table>	決算額(円)		1,616,110円		節別内訳(円)		報酬		給料、職員手当等	1,088,600	報償費		旅費		需用費	9,390	役務費	518,120	委託料		使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		<p>【事業目的】 話題になっているテーマを取り上げた講演会等を開催し、教養と生活文化の向上を図る。</p> <p>【実績】 令和4年度は、講師に小諸市出身の経済評論家「荻原博子」さんを迎え、信州の幸あんずホールにて6月25日「くらしと経済」と題して、講演を行った。</p> <p>【成果等】 令和4年度については、新型コロナウイルス感染症対策のため入場者を定員の半分とし実施したが、計329名の入場者があった。同様に新型コロナウイルス感染症対策を講じ講師に三四六さん迎え実施した令和3年度は、298名の入場者であったので年々、市民講座に対する市民の関心が高まってきていると思われる。</p> <p>【今後の方向性】 今後も、市民の生活文化向上のため、話題になっているテーマを取り上げ、それにふさわしい著名人講師を選定し、多くの入場者が集まる講座としていく。また、公民館事業に関心のない世代にも関心を持ってもらえるような講師の検討も必要ではないかと考える。</p>
決算額(円)																																							
1,616,110円																																							
節別内訳(円)																																							
報酬																																							
給料、職員手当等	1,088,600																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費	9,390																																						
役務費	518,120																																						
委託料																																							
使用料及び賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">財源内訳(円)</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,616,110</td> </tr> </table>	財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	1,616,110																											
財源内訳(円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	1,616,110																																						

事業名	市町村と県による協働電子図書館導入事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------------------	------	-------

基本目標 I 施策 2-1

事業費		主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額 (円)</th> </tr> <tr> <td colspan="2">2,470,834</td> </tr> <tr> <th colspan="2">節別内訳 (円)</th> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>2,177,200</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>293,634</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td></td> </tr> </table>		決算額 (円)		2,470,834		節別内訳 (円)		報酬		給料、職員手当等	2,177,200	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料		使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費	293,634	負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		<p>【事業目的】 すべての長野県民が、いつでも、どこでも、どこからでも、無償で、必要とする情報（電子書籍）にアクセスできる環境を構築するため、県内の公共図書館・公民館図書室と県立図書館が連携・協働し、県民の「学びの基盤づくり」と「公正な社会づくり」に寄与することを目的とする「市町村と県による協働電子図書館」に千曲市として参加する。</p> <p>【実績】 他の参加自治体とのすり合わせや申込受付をする職員の研修等の準備作業を行い、令和4年8月5日よりサービスを開始した。同日、オープニングセレモニーを行い、当市としても市報・SNS・Youtube で広報を行うなど、積極的に本事業の周知を図った。 図書館カウンターにおける操作方法等のレクチャー用として、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用し、市立図書館3館に1台ずつタブレット端末を配置した。</p> <p>【成果等】 本事業が、デジタル技術の活用により、地域の課題を解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上等につながる地方公共団体の取組を総理が表彰する「夏のDigi田（デジデン）甲子園」において全国5位となり、国政の間でも評価を得た。 令和4年度末時点での本市の登録者数は411名（県内5位）、同様に貸出件数は3,532件（県内4位）となった。</p> <p>【今後の方向性】 継続的にコンテンツ（蔵書に相当）の充実を図るとともに、電子図書館の市内小中学校での活用や、視覚障がい者向けの読み上げサービスの導入を検討していく。</p>
決算額 (円)																																								
2,470,834																																								
節別内訳 (円)																																								
報酬																																								
給料、職員手当等	2,177,200																																							
報償費																																								
旅費																																								
需用費																																								
役務費																																								
委託料																																								
使用料及び賃借料																																								
工事請負費																																								
原材料費																																								
公有財産購入費																																								
備品購入費	293,634																																							
負担金、補助及び交付金																																								
扶助費																																								
補償、補填及び賠償金																																								
公課費																																								
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源内訳 (円)</th> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>293,634</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,177,200</td> </tr> </table>		財源内訳 (円)		国庫支出金	293,634	県支出金		地方債		その他		一般財源	2,177,200																											
財源内訳 (円)																																								
国庫支出金	293,634																																							
県支出金																																								
地方債																																								
その他																																								
一般財源	2,177,200																																							

事業名	多文化共生・東京オリンピックホストタウン事業	担当課名	生涯学習課
-----	------------------------	------	-------

基本目標Ⅰ 施策3-1

事業費		主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額(円)</th> </tr> <tr> <td colspan="2">4,478,972</td> </tr> <tr> <th colspan="2">節別内訳(円)</th> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>1,607,952</td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>2,177,200</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>13,580</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>66,103</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>576,237</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>37,900</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td></td> </tr> </table>		決算額(円)		4,478,972		節別内訳(円)		報酬	1,607,952	給料、職員手当等	2,177,200	報償費		旅費	13,580	需用費	66,103	役務費		委託料	576,237	使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	37,900	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		<p>【事業目的】 外国籍市民を特別視せず、日本人との相互理解を深め、すべての国籍の市民が地域の一員として生活できる多文化共生の街を造る。 ホストタウンとしての国際交流を推進し、市民の国際意識を高める。</p> <p>【実績】 ①多文化共生事業 NPO 法人千曲国際交流協会との協働事業 ・多文化共生フェスティバル「千曲万博」 1月29日 戸倉創造館 来場者 400名</p> <p>②東京オリンピックホストタウン事業 ・東京オリンピック開催から1年経過後のメモリアルイベント 「梨本卓幹・宮本慶子の来て観て聴いてハンガリーってどんな国」 7月17日 信州の幸(めぐみ) あんずホール 来場者 100名</p> <p>・2020東京オリンピックホストタウン記念イベント 「金子三勇士&コハーン デュオ・リサイタル」 1月21日 信州の幸(めぐみ) あんずホール 来場者 411名 同日開催、小中高生の音楽に興味のある児童生徒を対象とした無料ミニコンサート 来場者 55名</p>
決算額(円)																																								
4,478,972																																								
節別内訳(円)																																								
報酬	1,607,952																																							
給料、職員手当等	2,177,200																																							
報償費																																								
旅費	13,580																																							
需用費	66,103																																							
役務費																																								
委託料	576,237																																							
使用料及び賃借料																																								
工事請負費																																								
原材料費																																								
公有財産購入費																																								
備品購入費																																								
負担金、補助及び交付金	37,900																																							
扶助費																																								
補償、補填及び賠償金																																								
公課費																																								
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源内訳(円)</th> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>416,450</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,062,522</td> </tr> </table>		財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他	416,450	一般財源	4,062,522																											
財源内訳(円)																																								
国庫支出金																																								
県支出金																																								
地方債																																								
その他	416,450																																							
一般財源	4,062,522																																							
		<p>【成果等】 多文化共生事業は協働事業により、外国の文化、芸術に触れる機会を提供し、国際意識の向上が図られた。 ホストタウン事業については、ハンガリーの魅力、千曲市がハンガリーのホストタウンであることを参加者に周知することができたとともに、芸術性の高いハンガリー文化を提供した。</p> <p>【今後の方向性】 外国人が抱えている悩みや、相談を把握することの課題がある、協働事業最終年となることから、成果を踏まえ次年度の事業体制を整備する。 ホストタウン事業については、今後も音楽や文化を紹介するイベント等を実施していく。</p>																																						

事業名	更埴文化会館管理運営事業	担当課名	文化課
-----	--------------	------	-----

基本目標Ⅰ 施策2-3

事業費		主要な施策の成果等																																																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額(円)</th> </tr> <tr> <td colspan="2">51,280,150</td> </tr> <tr> <th colspan="2">節別内訳(円)</th> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>4,686,396</td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>10,646,921</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>24,000</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>18,293,508</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>860,862</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>13,852,244</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>2,748,999</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>39,000</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td>119,420</td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>8,800</td> </tr> </table>		決算額(円)		51,280,150		節別内訳(円)		報酬	4,686,396	給料、職員手当等	10,646,921	報償費		旅費	24,000	需用費	18,293,508	役務費	860,862	委託料	13,852,244	使用料及び賃借料	2,748,999	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	39,000	扶助費		補償、補填及び賠償金	119,420	公課費	8,800	<p>【事業目的】 令和元年東日本台風被害からの災害復旧工事を終え、休館から2年6か月ぶりに再開館となった更埴文化会館に係る運営事業である。</p> <p>またネーミングライツ・パートナーを得て、令和4年4月1日からは愛称を「信州の幸(めぐみ) あんずホール」とし、台風被害からの復興イベントを実施するなど文化芸術拠点として、より市民に親しまれ、利用される施設を目指す。</p> <p>【実績】 令和4年4月3日に再開館を行うことができたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり事業の規模縮小、事業自粛団体等も散見され、台風被害前の平成30年度における施設使用料収入と比較すると約7割程度の収入であった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>自主共催事業</th> <th>集客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/3</td> <td>信州の幸(めぐみ) あんずホールリニューアルコンサート</td> <td>312人</td> </tr> <tr> <td>7/3</td> <td>熊木杏里コンサート2022</td> <td>273人</td> </tr> <tr> <td>8/21</td> <td>最強歌まねオンステージ ノブ&フッキーVS 荒牧陽子</td> <td>323人</td> </tr> <tr> <td>9/18</td> <td>第24回あんずホール合唱祭</td> <td>305人</td> </tr> <tr> <td>12/3.4</td> <td>アンサンブルフェスティバル</td> <td>178人</td> </tr> <tr> <td>12/9.10</td> <td>屋代南高校作品発表会</td> <td>381人</td> </tr> <tr> <td>12/18</td> <td>第19回ハートフルコンサート</td> <td>534人</td> </tr> <tr> <td>2/26</td> <td>音楽のおくりもの</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>3/18</td> <td>魔法使いアキッドマジックライブ</td> <td>141人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9事業</td> <td>3,047人</td> </tr> </tbody> </table> <p>貸館事業利用者数 40,248人</p> <p>【成果等】 改修した施設設備等の保守点検に努め、安全・安心な施設利用に努めた。(ピアノ整備、床・椅子等の清掃クリーニングを含む。)</p> <p>また利用団体や施設使用主催者などとは、施設管理者も交え、新型コロナウイルス感染予防対策等を講じ双方協議しながら事業を安全且つ有意義に開催することができた。</p> <p>【今後の方向性】 復旧後の施設点検の際にスプリンクラーの不具合が判明した。</p> <p>併せて特定天井の耐震改修や施設外観の老朽化(屋根・外壁)に伴う大規模改修計画との調整もあり、総合的な改修計画を施設利用面、財源費用面等から総合的に判断し、プランニング及び施工実施を図っていく必要がある。</p>	開催日	自主共催事業	集客数	4/3	信州の幸(めぐみ) あんずホールリニューアルコンサート	312人	7/3	熊木杏里コンサート2022	273人	8/21	最強歌まねオンステージ ノブ&フッキーVS 荒牧陽子	323人	9/18	第24回あんずホール合唱祭	305人	12/3.4	アンサンブルフェスティバル	178人	12/9.10	屋代南高校作品発表会	381人	12/18	第19回ハートフルコンサート	534人	2/26	音楽のおくりもの	600人	3/18	魔法使いアキッドマジックライブ	141人	計	9事業	3,047人
決算額(円)																																																																									
51,280,150																																																																									
節別内訳(円)																																																																									
報酬	4,686,396																																																																								
給料、職員手当等	10,646,921																																																																								
報償費																																																																									
旅費	24,000																																																																								
需用費	18,293,508																																																																								
役務費	860,862																																																																								
委託料	13,852,244																																																																								
使用料及び賃借料	2,748,999																																																																								
工事請負費																																																																									
原材料費																																																																									
公有財産購入費																																																																									
備品購入費																																																																									
負担金、補助及び交付金	39,000																																																																								
扶助費																																																																									
補償、補填及び賠償金	119,420																																																																								
公課費	8,800																																																																								
開催日	自主共催事業	集客数																																																																							
4/3	信州の幸(めぐみ) あんずホールリニューアルコンサート	312人																																																																							
7/3	熊木杏里コンサート2022	273人																																																																							
8/21	最強歌まねオンステージ ノブ&フッキーVS 荒牧陽子	323人																																																																							
9/18	第24回あんずホール合唱祭	305人																																																																							
12/3.4	アンサンブルフェスティバル	178人																																																																							
12/9.10	屋代南高校作品発表会	381人																																																																							
12/18	第19回ハートフルコンサート	534人																																																																							
2/26	音楽のおくりもの	600人																																																																							
3/18	魔法使いアキッドマジックライブ	141人																																																																							
計	9事業	3,047人																																																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源内訳(円)</th> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11,485,975</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>39,794,175</td> </tr> </table>		財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他	11,485,975	一般財源	39,794,175																																																												
財源内訳(円)																																																																									
国庫支出金																																																																									
県支出金																																																																									
地方債																																																																									
その他	11,485,975																																																																								
一般財源	39,794,175																																																																								

事業名	松田家資料保存整備事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	-------------	------	-----------

基本目標Ⅱ 施策1-1

事業費		主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額(円)</th> </tr> <tr> <td colspan="2">31,648,721</td> </tr> <tr> <th colspan="2">節別内訳(円)</th> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>5,443,000</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>88,900</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>18,720</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>2,529,599</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>85,285</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>6,435,637</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>18,480</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>17,029,100</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td></td> </tr> </table>		決算額(円)		31,648,721		節別内訳(円)		報酬		給料、職員手当等	5,443,000	報償費	88,900	旅費	18,720	需用費	2,529,599	役務費	85,285	委託料	6,435,637	使用料及び賃借料	18,480	工事請負費	17,029,100	原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 千曲市歴史的風致維持向上計画に基づき、八幡地区の活性化を図るため、県史跡等に指定されている松田家の整備を行う。 日本遺産の構成文化財の一つである、松田家の建物群を整備するとともに、松田家に伝来した古文書を広く公開し、活用を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備委員会での審議を踏まえ、博物館施設としての名称「千曲市武水別神社神官松田邸」と決定した。 博物館施設周辺の街なみ環境を整えるため、広場舗装及び防火水槽設置工事を実施した。 開館に向けて展示工事及び案内サイン作製等を実施し、博物館としての施設整備を図った。 敷地全てを博物館施設として公開することから、敷地内の草木整備を実施した。 令和5年3月25日の開館をもって、平成17年度に始まった松田家資料保存整備事業は完了した。 <p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度中の開館という当初計画を果たすことができた。 広場舗装や防災設備を備えた街なみ環境を整え、松田邸を含む周辺地域の安全性を高めることができた。 観覧者が敷地内を安全に通行できるよう整えることができた。 博物館として開館することで、松田家資料の保存と活用(展示)を進める態勢ができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年数回の企画展や関連事業等を実施し、地域の歴史と文化を伝える活動を行うとともに、それらを通して集客を図り、観光拠点となる施設を目指す。 千曲市唯一の古文書専門の博物館として、松田家資料に限らず、市内古文書の収集・調査・展示・活用を担う施設を目指す。 大人も楽しめる博物館として生涯学習につながる事業実施を検討する。 建物、敷地等の施設管理を適切に行う。
決算額(円)																																								
31,648,721																																								
節別内訳(円)																																								
報酬																																								
給料、職員手当等	5,443,000																																							
報償費	88,900																																							
旅費	18,720																																							
需用費	2,529,599																																							
役務費	85,285																																							
委託料	6,435,637																																							
使用料及び賃借料	18,480																																							
工事請負費	17,029,100																																							
原材料費																																								
公有財産購入費																																								
備品購入費																																								
負担金、補助及び交付金																																								
扶助費																																								
補償、補填及び賠償金																																								
公課費																																								
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源内訳(円)</th> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>7,400,000</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>6,700,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>17,548,721</td> </tr> </table>		財源内訳(円)		国庫支出金	7,400,000	県支出金		地方債	6,700,000	その他		一般財源	17,548,721																											
財源内訳(円)																																								
国庫支出金	7,400,000																																							
県支出金																																								
地方債	6,700,000																																							
その他																																								
一般財源	17,548,721																																							

事業名	社会体育施設耐震化事業	担当課名	スポーツ振興課
-----	-------------	------	---------

基本目標 1 施策 2-2

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">決算額 (円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">66,168,400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">節別内訳 (円)</td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>2,721,500</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>4,838,900</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>58,608,000</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td></td> </tr> </table>	決算額 (円)		66,168,400		節別内訳 (円)		報酬		給料、職員手当等	2,721,500	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料	4,838,900	使用料及び賃借料		工事請負費	58,608,000	原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		<p>【事業目的】 社会体育施設は、地域住民のスポーツに親しむ場として、災害時には避難所として利用される場であることから、非構造部材を主とした耐震化を進め、利用者の安全を図る。</p> <p>【実績】 非構造部材の耐震化工事、実施設計業務。 ○勤労者体育センター非構造部材耐震化工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築主体工事 契約日 令和4年9月7日 契約額 47,300,000円 施工業者 中信建設株式会社 履行期間 令和4年9月16日～令和5年3月14日 機械設備工事 契約日 令和4年9月12日 契約額 5,148,000円 施工業者 株式会社石井工務所 履行期間 令和4年9月12日～令和5年3月10日 電気設備工事 契約日 令和4年9月12日 契約額 6,160,000円 施工業者 株式会社宮下電工 履行期間 令和4年9月12日～令和5年3月10日 工事監理業務 契約日 令和4年9月16日 契約額 1,991,000円 施工業者 宮下一級建築設計事務所 履行期間 令和4年9月16日～令和5年3月14日 <p>○戸倉体育館耐震改修工事实施設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施設計業務委託 契約日 令和4年5月24日 契約額 2,847,900円 施工業者 株式会社宮本忠長建築設計事務所 履行期間 令和4年5月24日～令和4年9月30日 <p>【成果等】 利用者の安全・安心の確保、災害対応の強化、防災力の向上</p> <p>【今後の方向性】 工事期間中は施設の利用が休止となるため、事前周知、利用者調整等の対応を図る。 施設の長寿命化による長期的な利用と施設の統廃合等の調整、総合運動公園構想を踏まえた検討を行う必要がある。</p>
決算額 (円)																																							
66,168,400																																							
節別内訳 (円)																																							
報酬																																							
給料、職員手当等	2,721,500																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費																																							
役務費																																							
委託料	4,838,900																																						
使用料及び賃借料																																							
工事請負費	58,608,000																																						
原材料費																																							
公有財産購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補助及び交付金																																							
扶助費																																							
補償、補填及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">財源内訳 (円)</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>59,600,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,568,400</td> </tr> </table>	財源内訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債	59,600,000	その他		一般財源	6,568,400																											
財源内訳 (円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債	59,600,000																																						
その他																																							
一般財源	6,568,400																																						

事業名	給食センター管理運営事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	--------------	------	------------

基本目標 I-施策 1-2

事業費		主要な施策の成果等																																																																									
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">決算額 (円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">283,570,701</td> </tr> <tr> <td colspan="2">節別内訳 (円)</td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>29,708,291</td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>4,364,862</td> </tr> <tr> <td>災害補償費</td> <td>19,380</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>688,350</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>229,872,483</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1,427,826</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>15,331,619</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>1,991,940</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>39,850</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>86,100</td> </tr> </table>		決算額 (円)		283,570,701		節別内訳 (円)		報酬	29,708,291	給料、職員手当等	4,364,862	災害補償費	19,380	報償費	40,000	旅費	688,350	需用費	229,872,483	役務費	1,427,826	委託料	15,331,619	使用料及び賃借料	1,991,940	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	39,850	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費	86,100	<p>【事業目的】 管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。</p> <p>【実績】 総給食数 3,037食 年間給食数 8校 給食日数 207日 (センター稼働日) アレルギー対応給食該当者 65名</p> <table border="0"> <tr> <td>栄養士による食教育実施</td> <td>年間実施回数</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>学校給食訪問</td> <td>年間実施回数</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>全校集会講話</td> <td>年間実施回数</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>千曲市学校給食センター運営委員会</td> <td></td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>千曲市食物アレルギー対応専門部会</td> <td></td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>学校給食担当者会</td> <td></td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>児童のセンター見学</td> <td>(中止)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P T A等による施設見学・試食</td> <td>(中止)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>親子試食会</td> <td>(中止)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職場体験学習</td> <td>(中止)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般見学試食会</td> <td>(中止)</td> <td></td> </tr> </table> <p>・児童、生徒の心身の発達・体位向上を図るため、衛生管理に配慮し、食育の推進、食物アレルギー対応食など安全・安心な食材を使って栄養バランスのとれた、給食の提供を行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止措置による学校・学年閉鎖、各行事の見直しに伴う各校の給食日数の変更に対応してきた。</p> <p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調理従事者の衛生管理、施設・設備の維持管理を徹底し食中毒の防止に努めることができた。 新型コロナの影響下で相当の制約はあったが、できる範囲の中で栄養教諭が食教育に取り組み、児童生徒の食への正しい理解の醸成に資することができた。 アレルギー対応栄養士によりアレルギー対応食の提供を適切に実施することができた。 R4 地域食材使用率 千曲市産 38.04%、県内産 9.82% 残菜量 17.2 kg/日 (前年度 19.1 kg/日) <p>【今後の方向性】 安全・安心な学校給食を安定して提供するため、以下の項目について努めていくことが求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生管理の徹底及びレベルの向上 異物混入などの給食事故防止への取り組み 施設・機械設備・器具類の適切な維持管理と改善 調理作業等における事故防止の推進 地域食材の活用と利用率の向上 増加するアレルギー対応について、安全確保のために取扱指針の見直し 	栄養士による食教育実施	年間実施回数	20回	学校給食訪問	年間実施回数	5回	全校集会講話	年間実施回数	4回	千曲市学校給食センター運営委員会		2回	千曲市食物アレルギー対応専門部会		3回	学校給食担当者会		4回	児童のセンター見学	(中止)		P T A等による施設見学・試食	(中止)		親子試食会	(中止)		職場体験学習	(中止)		一般見学試食会	(中止)	
決算額 (円)																																																																											
283,570,701																																																																											
節別内訳 (円)																																																																											
報酬	29,708,291																																																																										
給料、職員手当等	4,364,862																																																																										
災害補償費	19,380																																																																										
報償費	40,000																																																																										
旅費	688,350																																																																										
需用費	229,872,483																																																																										
役務費	1,427,826																																																																										
委託料	15,331,619																																																																										
使用料及び賃借料	1,991,940																																																																										
工事請負費																																																																											
原材料費																																																																											
公有財産購入費																																																																											
備品購入費																																																																											
負担金、補助及び交付金	39,850																																																																										
扶助費																																																																											
補償、補填及び賠償金																																																																											
公課費	86,100																																																																										
栄養士による食教育実施	年間実施回数	20回																																																																									
学校給食訪問	年間実施回数	5回																																																																									
全校集会講話	年間実施回数	4回																																																																									
千曲市学校給食センター運営委員会		2回																																																																									
千曲市食物アレルギー対応専門部会		3回																																																																									
学校給食担当者会		4回																																																																									
児童のセンター見学	(中止)																																																																										
P T A等による施設見学・試食	(中止)																																																																										
親子試食会	(中止)																																																																										
職場体験学習	(中止)																																																																										
一般見学試食会	(中止)																																																																										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">財源内訳 (円)</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>4,299,000</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>177,139,438</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>102,132,263</td> </tr> </table>		財源内訳 (円)		国庫支出金	4,299,000	県支出金		地方債		その他	177,139,438	一般財源	102,132,263																																																														
財源内訳 (円)																																																																											
国庫支出金	4,299,000																																																																										
県支出金																																																																											
地方債																																																																											
その他	177,139,438																																																																										
一般財源	102,132,263																																																																										

事業名	学校給食費徴収事務事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	-------------	------	------------

基本目標 I-施策 1-2

事業費		主要な施策の成果等																																								
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">決算額 (円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3,036,199</td> </tr> <tr> <td colspan="2">節別内訳 (円)</td> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>1,269,000</td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>220,304</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>24,000</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>60,995</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>173,700</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>1,288,200</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td></td> </tr> </table>		決算額 (円)		3,036,199		節別内訳 (円)		報酬	1,269,000	給料、職員手当等	220,304	賃金		報償費		旅費	24,000	需用費	60,995	役務費	173,700	委託料		使用料及び賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	1,288,200	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		<p>【事業目的】 学校教職員の働き方改革の一環として、これまで学校で行っていた給食費の徴収事務を第1学校給食センターに移行する。</p> <p>【実績】 徴収管理システムにより、市が直接給食費の徴収を行っている。</p> <p>口座振替による納入 約3,100件/月 納付書による納入 約3件/月</p> <p>現年分（令和4年度） 調定金額 第1学校給食センター 177,499,772円 第2学校給食センター 96,427,978円 収入済額 第1学校給食センター 177,139,438円 第2学校給食センター 96,307,178円 収入未済額 第1学校給食センター 360,334円 第2学校給食センター 120,800円</p> <p>【成果等】 令和3年から市が一括して給食費の徴収を行っている。毎月納付する者は原則口座振替により納付するよう協力を依頼し、事務軽減に努めた。 令和4年から就学援助対象者については全額市が給食費を負担するとし、直接公金振替により収納することとした。これにより保護者が給食費を納付する負担や手間が軽減し、市が再振替する件数や督促状を発送する件数も減少した。 再振替件数 R3 約100件/月→約70件/月 督促状発送件数 R3 約70件/月→約37件/月 長期未納者については、数か月に一度、市で訪問をし、児童手当による給食費の充当などの活用を勧め、未納の解消に努めた。 また、催告書を12月及び4月に発送し、納入を依頼した。</p> <p>【今後の方向性】 長期滞納者の中には通知や電話、訪問をしても直接連絡が取れない者もいる。 学校には担当者会議の時に未納者の情報を共有しているが、未納の解消に向けてどう連携をしていくかが課題である。</p>
決算額 (円)																																										
3,036,199																																										
節別内訳 (円)																																										
報酬	1,269,000																																									
給料、職員手当等	220,304																																									
賃金																																										
報償費																																										
旅費	24,000																																									
需用費	60,995																																									
役務費	173,700																																									
委託料																																										
使用料及び賃借料																																										
工事請負費																																										
原材料費																																										
公有財産購入費																																										
備品購入費																																										
負担金、補助及び交付金	1,288,200																																									
扶助費																																										
補償、補填及び賠償金																																										
公課費																																										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">財源内訳 (円)</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,036,199</td> </tr> </table>		財源内訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	3,036,199																													
財源内訳 (円)																																										
国庫支出金																																										
県支出金																																										
地方債																																										
その他																																										
一般財源	3,036,199																																									

事業名	給食センター管理運営事業	担当課名	第2学校給食センター
-----	--------------	------	------------

基本目標 I-施策 1-2

事業費		主要な施策の成果等																																								
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額 (円)</th> </tr> <tr> <td colspan="2">184,661,495</td> </tr> <tr> <th colspan="2">節別内訳 (円)</th> </tr> <tr> <td>報酬</td> <td>15,209,707</td> </tr> <tr> <td>給料、職員手当等</td> <td>2,361,668</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>333,400</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>120,059,311</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>771,339</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>7,413,639</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>2,913,981</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>3,300,000</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>32,228,350</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>23,600</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>46,500</td> </tr> </table>		決算額 (円)		184,661,495		節別内訳 (円)		報酬	15,209,707	給料、職員手当等	2,361,668	賃金		報償費		旅費	333,400	需用費	120,059,311	役務費	771,339	委託料	7,413,639	使用料及び賃借料	2,913,981	工事請負費	3,300,000	原材料費		公有財産購入費		備品購入費	32,228,350	負担金、補助及び交付金	23,600	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費	46,500	<p>【事業目的】 管内の小中学校に安全・安心な給食を提供する。</p> <p>【実績】 給食提供 5校 (小学校4校、中学校1校) 総給食数 1,663食 給食日数 203日 (センター稼働日) アレルギー対応給食該当者 43名 栄養教諭による食教育 1回 学校給食訪問 13回 全校集会講話 3回 学校給食担当者会 6回 児童のセンター見学 1回 PTA等による施設見学・試食 1回 親子給食会 0回 職場体験学習(戸倉上山田中学校) (中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒の心身の発達・体位向上を図るため、衛生管理に配慮し、食育の推進、食物アレルギー対応食など安全・安心な食材を使って栄養バランスのとれた、給食の提供を行った。 ・新型コロナウイルス感染防止措置による学校・学年閉鎖、各行事の見直しに伴う各校の給食日数の変更に対応してきた。 <p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭、栄養士、調理従事者の努力により、安全な給食を提供することができた。 ・コロナ禍で相当の制約はあったが、可能な範囲で学校給食訪問等を実施し、児童生徒に対して食への関心や理解を深めることができた。 ・アレルギー対応栄養士により食物アレルギー対応食の提供を適切に実施することができた。 ・R4 地域食材使用率 51.03% (千曲市産 37.66%、県内産 13.37%) ・残菜量 17.7 kg/日 (前年度 17.2 kg/日、5年平均 14.6 kg/日) <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理の徹底と工夫、設備・機械器具類の適切な維持管理等により安全な給食の提供に努める。 ・「学校における食物アレルギー対応の手引き」に沿った、安全な食物アレルギー対応食の提供。 ・地域食材の活用と利用率の向上を図る。
決算額 (円)																																										
184,661,495																																										
節別内訳 (円)																																										
報酬	15,209,707																																									
給料、職員手当等	2,361,668																																									
賃金																																										
報償費																																										
旅費	333,400																																									
需用費	120,059,311																																									
役務費	771,339																																									
委託料	7,413,639																																									
使用料及び賃借料	2,913,981																																									
工事請負費	3,300,000																																									
原材料費																																										
公有財産購入費																																										
備品購入費	32,228,350																																									
負担金、補助及び交付金	23,600																																									
扶助費																																										
補償、補填及び賠償金																																										
公課費	46,500																																									
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源内訳 (円)</th> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>2,418,000</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>31,000,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>96,307,178</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>54,936,317</td> </tr> </table>		財源内訳 (円)		国庫支出金	2,418,000	県支出金		地方債	31,000,000	その他	96,307,178	一般財源	54,936,317																													
財源内訳 (円)																																										
国庫支出金	2,418,000																																									
県支出金																																										
地方債	31,000,000																																									
その他	96,307,178																																									
一般財源	54,936,317																																									

4 成果指標

第三次千曲市総合計画「成果指標」(第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」) 一覧 (教育委員会抜粋)

第2章 千曲っ子が元気に育つ、生涯学びのまち

※塗りつぶしは、達成度100%以上

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		実績値		目標値	達成率	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・ 出典等	達成率 計算式
					令和3 年度	令和4 年度	令和3 年度	令和4 年度						
2	【教育】 一人ひとりの個性を尊重し、生きる力を育む教育環境をつくる	基礎学力の定着度(国語、算数・数学)	「全国学力学習状況調査」における教科別の平均正答率の、全国・長野県との比較	上昇 ↑	(小学校)各教科、全国・長野県と同程度	令和3年度	各教科、全国・長野県と同程度(100.7%)	令和4年度	各教科、全国・長野県を上回る (令和8年度)	100.7%	教育総務課	継続的な全国規模の調査により基礎学力の定着度を表す	全国学力学習状況調査結果	B
		家で、自分で計画を立てて勉強している	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↑	(小学校) 79.4 %	令和3年度	72.5 %	令和4年度	基準値を上回る (令和8年度)	91.3%	教育総務課	継続的な調査により学習習慣の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
		自分にはよいところがある	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↑	(小学校) 81.2 %	令和3年度	79.4 %	令和4年度	基準値を上回る (令和8年度)	97.8%	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
		将来の夢や目標を持っている	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↑	(小学校) 82.9 %	令和3年度	86.5 %	令和4年度	基準値を上回る (令和8年度)	104.3%	教育総務課	継続的な調査により将来に関する意識の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
		学校に行くのは楽しい	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↑	(小学校) 86 %	令和3年度	88.5 %	令和4年度	基準値を上回る (令和8年度)	102.9%	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
		住んでいる地域の行事に参加している	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↑	(小学校) 75.3 %	令和3年度	81.2 %	令和4年度	基準値を上回る (令和8年度)	107.8%	教育総務課	継続的な調査により地域や社会に関わる活動の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
		食材の地場産物使用度	地場産物の範囲を県内産とした食材数ベース	上昇 ↑	54.9 %	令和2年度	45.5 %	令和4年度	55.0 % (令和8年度)	82.7%	給食センター	県内・市内産農産物などの地元産食材使用率が維持されているかを表す	長野県の学校給食県産農産物利用状況調査の報告値(食材数ベース)	A
3	【生涯学習】 学びと交流を進め、人生を豊かにする	公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数	公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数	上昇 ↑	18,958 人	令和元年度	11,593 人	令和4年度	24,000 人 (令和8年度)	48.3%	生涯学習課	生涯学習の場の提供状況を表す	実施状況報告などにより把握	A
		「生涯学習人材バンク」新規登録人数	「生涯学習人材バンク」新規登録人数	上昇 ↑	2 人	令和2年度	0 人	令和4年度	5 人 (毎年度)	0.0%	生涯学習課	生涯学習のための講師人材登録者数を表す	実登録者数をカウント	A
4	【スポーツ振興】 スポーツを通じ、心身の健康と活力あるまちを目指す	千曲川ハーフマラソンへのエントリー者数	千曲川ハーフマラソンへのエントリー者数	上昇 ↑	1,640 人	令和元年度	1,485 人	令和4年度	2,000 人 (令和8年度)	74.3%	スポーツ振興課	スポーツイベントの開催による交流人口の増加に対する指標	大会参加申込者の集計による	A
		成人の運動実施率	20歳以上の市民1,000人にアンケートを行い、週に1回以上運動をしていると回答した人の割合	上昇 ↑	43.8 %	平成30年度	46.1 %	令和4年度	65.0 % (令和8年度)	70.9%	スポーツ振興課	健康運動の普及と推進の取組状況を表す	市民アンケートの集計による	A

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		実績値		目標値	達成率	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
1	【歴史・文化財】 歴史・文化的遺産の保全・活用を進め、文化都市を形成する	文化財保護事業実施件数(累計)	市民、文化財所有者による文化財保護に取り組んでいる活動を示す件数	上昇 ↑	4 件	令和3年度末	5 件	令和4年度末	12 件 (令和8年度末)	41.7%	歴史文化財センター	指定等文化財保存に対する市民の取組状況を表す	指定等文化財保護事業に対する補助金交付件数	A
		国・県・市指定等文化財件数	国・県・市指定等文化財件数	上昇 ↑	149 件	令和3年度末	150 件	令和4年度末	154 件 (令和8年度末)	97.4%	歴史文化財センター	文化財保護の取組状況を表す	指定等文化財件数	A
		博物館・史跡公園の入館(場)者数	森將軍塚古墳館・さらしなの里歴史資料館・城山史跡公園の年間入館(場)者数	上昇 ↑	25,350 人	令和2年度	33,504 人	令和4年度	35,000 人 (令和8年度)	95.7%	歴史文化財センター	文化財施設の活用状況を表す	森將軍塚古墳館、さらしなの里歴史資料館、城山史跡公園の入館(場)者数	A
2	【景観形成】 まち全体が調和された、景観の美しいまちをつくる	建造物修理・修景の件数	稲荷山伝建地区の建物修理・修景件数	上昇 ↑	修理 11 件	令和2年度	15 件	令和4年度	25 件 (令和8年度)	60.0%	歴史文化財センター	歴史的まちなみ保存への市民の取組状況を表す	稲荷山重伝建地区における建造物等修理・修景事業への補助金交付延べ件数	A
					修景 3 件		3 件		7 件 (令和8年度)	42.9%				
		眺望点の指定数	地域の重要な景観を眺望できる場所を指定した数	上昇 ↑	1 件	令和3年度末	1 件	令和4年度末	2 件 (令和8年度末)	50.0%	都市計画課	長野県景観条例による地域にとって重要な景観を眺望できる地点を表す	長野県による指定数	A
3	【伝統文化】 伝統的な行事や生活文化を次代に伝承する	郷土料理の提供数	市内学校での講習会の実施による、次世代へ郷土料理の伝承状況を表す	維持 →	小中学校 13 校	令和2年度	13 校	令和4年度	13 校 (令和8年度)	100.0%	歴史文化財センター	次世代へ郷土料理の伝承状況を表す	小中学校での郷土料理講習会の実施校数	A
		千曲市食の文化祭入場者数	千曲市食の文化祭入場者数を表す	維持 →	600 人	平成30年度	58 人	令和4年度	600 人 (令和8年度)	9.7%	農林課	郷土の食文化伝承活動の取組状況を表す	食の文化祭参加者数	A
		神楽保存会数	市内の神楽保存会数	維持 →	30 団体	令和2年度	30 団体	令和4年度	30 団体 (令和8年度)	100.0%	歴史文化財センター	地域の伝統芸能に対する保存・伝承の状況を表す	市内の神楽保存会の数	A
4	【文化芸術】 豊かな心を育む文化芸術のまちをつくる	更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の利用者数	各館のイベント入場者・貸館利用者の合計	上昇 ↑	176,210 人	平成30年度	91,627 人	令和4年度	180,000 人 (令和8年度)	50.9%	文化課	文化施設の活用状況を表す	毎年度利用実績値の積算	A
		更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の自主事業の件数	各館が自主事業として行ったイベントの件数	上昇 ↑	17 件	平成30年度	23 件	令和4年度	20 件 (令和8年度)	115.0%	文化課	文化芸術活動の取組状況を表す	毎年度の主催、共催事業件数の積算	A
		更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の自主事業の来場者数	自主事業23件の来場者数の合計	上昇 ↑	9,073 人	平成30年度	6,202 人	令和4年度	10,000 人 (令和8年度)	62.0%	文化課	文化芸術活動の取組状況を表す	毎年度の主催、共催事業来場者数の積算	A
		稲荷山宿・蔵し館、ふる里漫画館、アートまちかどの入場者数	各館の入場者・貸館利用者の合計	上昇 ↑	12,510 人	令和元年度	9,669 人	令和4年度	15,000 人 (令和8年度)	64.5%	文化課	文化施設の活用状況を表す	毎年度利用実績値の積算	A
5	【多文化共生】 個性や互いの文化を理解し、共に生きるまちをつくる	千曲万博の入場者数	千曲万博の入場者数	上昇 ↑	430 人	令和元年度	400 人	令和4年度	600 人 (令和8年度)	66.7%	生涯学習課	多文化共生事業への参加状況を表す	実入場者数をカウント	A

【達成率計算式】

- A … 実績値/目標値 (指標値の増加を目標とする指標、現状維持を目標とする指標 ほか)
- B … 実績値/基準値 (目標値が「基準を上回る」としているもの ほか)
- C … 1-(実績値/基準値) (発生しない状態(0)を目標としているもの)
- D … 目標値/実績値 (指標値の減少を目標とする指標)

5 外部評価での意見・提言とそれに対する考え

(1) 教育の充実

■意見・提言

- ①事業目的③の不登校児童生徒対策に教育支援センターの充実を図るとありますが、具体的にどのように充実させていくのか。
- ②郷土に誇りと愛着を持ってもらうためにも、道徳人権教育は重要な役割を果たすと思っています。特に、多感な時期に嫌な思いをしたこと、場所に対して、愛する気持ちはどうも持てないと思うので、いじめなどできるだけ少ない、そういう学校生活を送ってほしい。
- ③実績①のG I G Aスクール構想にある「ドリルシステム」という表記は、昔のシステムの言葉なので、この言葉は外す、または、違う表現の方がよい。

●教育委員会の考え

- ①市内に5か所教育支援センターを設置しており、昨年度から運営マニュアルを変更し、在籍学校、所在地にかかわらず、どの教室にも通えるように改善をしたこと、また、チャイルドサポーターが家庭訪問だけではなく、教育支援センターへも定期的に訪問し、指導員との情報共有や意見交換、児童生徒への対応もおこなわれています。配置したチャイルドサポーターは、県のスクールソーシャルワーカーのも兼務しており、その見地からもサポートをしていただいています。(教育総務課)
- ②「ふるさと」に誇りと愛着を抱くことのできる教育を推進するため、ふるさと学習を進めていますが、道徳人権教育も大変重要だと考えています。郷土に愛着を持つことで、将来、千曲市に戻ってきてもらいたいといった思いは、念頭にありますので、今後もしじめ防止や不登校支援に力を入れていきたいと考えています。(教育総務課)
- ③記載の仕方について検討し、修正します。(教育総務課)

(2) 学校給食費徴収事務事業

■意見・提言

- ①調定額から試算して、一食当たり280円程度、年間58,000円程度の保護者負担。この試算でいくと、未納者の数は極めて少ない。徴収事務を変えて、より集めやすくなったという点は評価ができる。その中で、児童手当を給食費に充当することは問題がないのか。
- ②第1、第2給食センターがあり、第1給食センターの方の規模が大きい。規模が大きい給食センターでは地域食材使用率が低くなるという数字が出ている。食材を集めるのが大変だと理屈上はわかりますが、今後、地域食材の使用率を50から60%ぐらいを目標にして、逆算して、給食センターの規模を検討するというお考えはあるのか。
- ③残菜量は年々減少していると理解していますが、年間にすると7トンを超えると。残菜の処理はどうしているのか。有効に処理する方法を検討されているのか。

●教育委員会の考え

- ①法的根拠は、児童手当法第 21 条及び千曲市児童手当事務取扱規則第 29 条であります。児童手当受給資格者から提出されます、「学校給食費等徴収等申出書」に基づきまして、学校給食費に充当している現状でございます。(学校給食センター)
- ②そのとおり理解はできますが、給食センターの数を増やすことは、建設費、維持費、人件費等の費用が掛かりますし、千曲市公共施設等総合管理計画の公共施設の縮減目標があることから、それは難しいのではないかと考えております。しかし、地産地消は、力を入れていかななくてはいけないこととございますし、これからも給食センターとしても発注等に努力するように努めていきたいと思っております。問題点としましては、年間を通じて安定的に数量がまとまらないですとか、天候に左右されるとか、冬季間は野菜の入荷が難しいとか、さまざまな課題がありますけれど、それをできる限りクリアしていきたいと考えております。(学校給食センター)
- ③残菜につきましては、現在、野菜くずですとか野菜の切れ端等は、市の施設であります、戸倉宿キティパークの小動物の餌として、有効利用させていただいております。その他の残菜につきましては、千曲環境エネルギーセンターで焼却処分をしております。その千曲環境エネルギーセンターでは焼却灰の資源化ですとか、発生した熱エネルギーによる高効率発電、余熱利用施設に熱や電力を供給するなど、環境保全や循環型社会の推進に取り組んでいますので、環境面で還元されていると考えております。(学校給食センター)

(3) その他

■意見・提言

- ①令和 3 年度には重要伝統建造物保存推進事業というのがあったが、令和 4 年度にはない、外した理由を聞きたい。継続していただきたい。
- ②【今後の方向性】は非常に重要なことなので、教育振興基本計画と千曲っ子教育ビジョンのどこに対応しているのか。もちろん対応できていないこともありますので、未対応であれば未対応だと。PDCA サイクルの観点から記載する方法もよいのかという提案になります。

●教育委員会の考え

- ①重要伝統的建造物群保存推進事業につきまして、継続して事業は進めております。今回の資料の事業は、令和 4 年度の市政方針、主要施策として掲げられた事務事業を対象として作成した資料になりますのでご了解いただきたいと思っております。昨年度、令和 4 年度につきましては、松田家資料整備事業のみが施政方針の対象になってため今回の事業実績の説明には重要伝統的建造物群保存推進事業はないということでご承知いただければと思っております。(歴史文化財センター)
- ②記載の仕方について検討していきたいと思っております。(教育総務課)

6 点検及び評価を受けて

千曲市教育振興審議会から、教育委員会が行った主要施策について意見・提言をいただき、教育委員会としての考えを明確にしました。

教育委員会の所管は、学校教育、学校給食、生涯学習、国際交流、スポーツ、文化・芸術、歴史・文化財と多岐に及びます。今年度の「点検及び評価報告」を基に、P(計画)・D(実行)・C(評価)・A(改善)サイクルを確立し、事業の選択と集中を進めることにより、一層効率的な事務執行に努めてまいります。

また、「点検及び評価報告」の議会への報告及び市民への公表は、教育委員会事務の説明責任を求められたものであり、本制度により教育委員会の基本方針をより分かりやすく、丁寧に説明をしてまいりたいと考えています。

7 資 料

(1) 教育長・教育委員

役 職 名	氏 名	住 所
教 育 長	小 松 信 美	羽 尾
教育長職務代理者	坂 本 孝 夫	上山田温泉
委 員	中 村 洋 一	若 宮
委 員	松 田 祐 子	八 幡
委 員	新 海 敦 子	小 島
委 員	吉 味 淳	栗 佐

(令和5年3月31日現在)

(2) 令和4年度 教育委員会基本方針

平成28年9月に宣言した『千曲市教育大綱』では、「オラチも オラホも ちくまっここからはじめる ひと（まち）づくり」を理念として掲げています。

また、令和4年度を初年度とする『第三次千曲市総合計画（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略）』では、「人をてらす 人をはぐくむ 人がつながる 月の都 文化伝承創造都市・千曲」を将来像とし7つの基本目標を掲げました。

教育委員会では、今後、基本目標に掲げた施策を着実に進めるとともに、適宜、第二次教育振興基本計画並びに各個別計画について見直しを行います。

■学校教育、学校給食

子どもたち一人ひとりが将来において、その可能性を開花させ、自らの人生を幸福に過ごすことができるための基礎力を身につけさせることが教育の役割です。

そのためには、コロナ禍であっても、児童生徒等の教育を受ける権利を持続的に保障し、学校における感染リスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していく必要があります。

現在、国が目指す Society5.0 の未来社会に向けて、今後は ICT の利活用が一層加速され、情報や ICT 機器を有効に、安全に活用する「情報活用能力」が求められています。Society 5.0 時代を生きる子どもたちにとって、教育における ICT を基盤とした先端技術の活用は必須であり、GIGA スクール構想の充実により、学習指導要領が目指す主体的・対話的で深い学びの実現に取り組みます。

また、子どもたちが個性や能力を生かし、自立した人間として生きていくためには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和がとれた「生きる力」を育成することが大切

です。そのために、学校、家庭、地域との連携強化を進め、小中学校の現場における教育力の向上と千曲型コミュニティスクールなどによる学校支援体制の構築や子どもたちの社会的・職業的自立に向け、職場見学及び職場体験学習等を位置づけたキャリア教育の推進を図り、開かれた信頼される学校づくりに努めます。さらに、今年度は、児童生徒が、千曲市の自然、歴史、文化、伝統などについて学んだことを地域に発信する機会を設けることにより、あらためて地域の大切さについて考え、「ふるさと」に誇りや愛着を抱くことができる教育を地域ぐるみで強化します。

不登校や特別な支援を必要とする子ども達への対策としては、総合教育センターを中心に関係機関との連携を図りながら、教育相談・教育支援体制の充実を図るとともに、教育相談室では、幼・保・小・中の連携のもと就学移行支援を充実させ、不登校予防や各発達段階における適切な指導・支援体制の整備を図ります。また、特別支援学校に在籍する児童生徒については、居住する地域の千曲市立学校に副学籍を置き、副学籍校の児童生徒と共に学び育つことができる体制づくりを進めます。

学校給食については、安全で安心な給食の提供に努めるほか、学校給食を「生きた教材」として活用し、望ましい食習慣が身につくよう食育を推進します。

また、教育施設については、児童・生徒が、安心していきいきとした学習や生活ができるよう、引き続き安全で快適な教育環境の整備を進めます。

このほか、若い世代の「移住・定住促進策」及び「経済的支援策」については、UIJ ターン向け「奨学金償還優遇制度事業」助成金の交付を継続します。

■生涯学習、スポーツ、文化芸術

市民一人ひとりが自己を高め、生きがいを創出し、心豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習は大きな役割を果たしています。

生涯学習は、学校教育のみならず、乳幼児から高齢者まで、その生涯にわたって自らの意志により、いつでも、どこでも、だれでもが自由に行われる継続的な学習活動であり、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができるよう、体制を整えていく必要があります。さらには、その学びの成果が、社会や地域に適切に生かされるよう環境の整備をしていくことも大切です。

そのため、「第二次千曲市生涯学習基本構想・基本計画」（令和元年度(2019年度)から10年）に基づき、社会の変化に即した学習内容の提供など、計画に盛り込んだ施策を着実に推進します。また、市民の学習ニーズに応えるため、公民館では事業の充実を図ります。図書館でも施設整備を行うとともに、市民の教養、生涯学習の拠点として自由で親しみのある図書館づくりに努め、利用者の要望、時代の変化に対応した図書館サービスの推進、資料の提供を行います。

家庭での教育は原点であり全ての教育の出発点であることから、「家庭教育支援条例」に基づき、家庭の教育力向上のため、学校、地域、事業者、行政等、その他市民皆で家庭教育を支えていくことを目指します。また、子どもたちの放課後の安全・安心な生活や活動の場を確保するために、子どもたちと地域の人たちが触れ合える機会を創出する、遊び場や学習の場づくりなどを一体的に進めます。

多文化共生社会の実現に向けては、異文化理解の推進や外国籍市民への支援、国際感覚豊かな人材の育成等を進めます。

スポーツ振興事業は、「第二次千曲市スポーツ推進基本計画（計画期間：令和元年度（2019年度）から10年間）」に掲げる「市民みなスポーツ」の実現に向け、「千曲市スポーツ推進委員」「NPO法人千曲市スポーツ協会」「総合型地域スポーツクラブ」などのスポーツ関係団体や地域密着型プロスポーツチームと連携し、市民がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができるよう、生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自立的にその適性及び健康状態に応じて行なえる環境整備を進めるとともにスポーツツーリズムを推進し、地域の特色を活かしたイベントの開催や施設整備を行います。

令和10年度に長野県を主会場として開催されることが内々定している第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会に向け、開催準備を進めるとともに、大会に対する県民・市民の関心を高め、大会を盛り上げる機運を醸成します。

体育施設運営については、長期的な視野に立ち、施設のあり方を検討するとともに、現在管理運営する施設について、指定管理者制度や市民協働、受益者負担などの考え方を研究しながら、更に合理的で経済的な運営方法を検討します。なお、安心して社会体育施設を利用していただくため、令和3年度より非構造部を含む施設の耐震化を順次進めており、令和4年度は勤労者体育センターの耐震化工事に着手します。

また、総合運動公園構想については、白鳥園周辺の整備・活性化や市民の健康促進、各種スポーツ施設の整備など、戸倉体育館周辺の活用方針を踏まえ、関係行政機関や市民参画による基本構想策定協議会において、調査、研究を進めています。新年度においては、市民アンケートなどを踏まえ、様々な課題や整備に向けての財源、官民連携（PPP/PFI）による整備手法の調査検討を整備しながら、策定協議会や個別検討部会において協議・検討をいただき、令和4年度中に策定を進めます。

文化芸術は、ゆとりと潤いの実感できる心豊かな市民生活を実現していく上で、不可欠なものであり、社会的財産と言えます。そして、その振興が地域経済とも密接に連携し、活力と魅力あるまちづくりに繋がるものとして、とらえており、「第3期千曲市文化芸術振興基本計画」（令和4年度（2022年度から5年））を推進するため、「千曲市文化会館運営委員会」に助言等をいただき、具体的事業を進めるなどして文化芸術の振興を図ってまいります。

また、令和元年東日本台風によって大きな被害を受けた更埴文化会館は、災害復旧工事を終え、4月3日（日）に再開館となります。再開館後は、災害復興記念イベントや文化自主事業等を実施するなどして一層の文化芸術振興を図り、文化芸術の拠点となるよう取り組みます。なお、文化施設については、今後も公共施設個別施設計画に基づき計画的に施設の整備及び適正管理に努め、令和4年度は、更埴文化会館、稲荷山宿・蔵し館、アートまちかどの長寿命化に対応した工事、設計業務等を行います。

■文化財

文化財は、まちの歴史や文化を正しく理解するためにはなくてはならないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎となるものです。また、その価値が損なわれると回復が

できない、貴重な国民共有の財産です。

千曲市の貴重な文化財を守り、また、今後活用を図っていくため、文化庁の補助を受け「千曲市文化財保存活用地域計画」の作成を行いました。本計画は令和4年7月に正式に国の認定を予定していますが、文化財や歴史遺産の取り扱いに際して保護を重視しがちだった従来の方針に加え、新たに活用に視点を当てた歴史文化行政の推進を図ります。

令和2年度、千曲市が「月の都 千曲」のタイトルで日本遺産に認定されました。

日本遺産認定を機に、重要伝統的建造物群保存地区に選定された稲荷山の町並み整備をはじめ、重要文化的景観に選定された「姨捨の棚田」など日本遺産の核となる文化財を主に、指定文化財の保存・継承と歴史的建造物の保護を図るとともに、千曲市の歴史・文化的な魅力を幅広く情報発信します。

平成29年9月に焼損し、令和3年12月に修理が完了した松田館主屋等については、千曲市の貴重な文化財を継承していくため引き続き外構や内部の展示工事を進めていますが、今年度中に博物館的施設として開館するよう努めます。

また、文化財保護意識の啓発・育成を進めるため、博物館など文化財施設の充実並びに史跡公園等の適正管理に努めます。

(3) 令和4年度 教育委員会議及び議決案件一覧

①委員会の開催状況 定例会12回 臨時会1回

②委員会の議決事項

年月日	議案・報告・専決 番号	議 案 名
第1回定例会 (R4.4.27)	議 案	1 千曲市教育支援委員の委嘱について
		2 千曲市総合教育センター企画運営委員会委員の委嘱について
		3 千曲市公民館運営審議会委員の委嘱について
		4 千曲市水辺の楽校運営委員会委員の委嘱について
		5 千曲市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
		6 千曲市文化財保護審議会委員の委嘱について
		7 千曲市文化財調査員の委嘱について
		8 令和4年度教育施設工事・修繕計画調書について
	報 告	1 令和4年度外国語指導助手の学校配置について
		2 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」2021年度実施報告書
		3 教育長、部・課長報告について
		4 行事の共催・後援について
		5 5月の各課の行事予定について
第2回定例会 (R4.5.25)	議 案	9 令和4年度千曲市一般会計（第2号補正）教育関係予算について
		10 千曲市立図書館協議会委員の任命について
		11 令和4年度千曲市第2学校給食センター食器洗浄機購入契約の締結について
	専 決	1 専決処分事項報告について（令和3年度千曲市一般会計（第12号補正）教育関係予算について）

	報告	6 7 8 9 10 11	令和3年度千曲市家庭教育支援条例に基づく支援施策の報告について 令和4年常任委員会合同調査会報告について 職員の処分について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 6月の各課の行事予定について
第3回定例会 (R4.6.29)	議案	12 13	県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について 千曲市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	専決	2	令和4年度千曲市奨学生の決定について
	報告	12 13 14 15 16 17	令和4年5月20日常任委員会合同調査会報告について 令和4年5月27日市議会委員会報告について 令和4年6月千曲市議会定例会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 7月の各課の行事予定について
第4回定例会 (R4.7.27)	議案	14 15	令和4年度千曲市一般会計（第3号補正）教育関係予算について 千曲市教育振興審議会委員の委嘱について
	報告	18 19 20	教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 8月の各課の行事予定について
第5回定例会 (R4.8.24)	議案	16 17 18 19	令和4年度千曲市一般会計（第4号補正）教育関係予算について 千曲市いじめ問題対策連絡協議会等条例制定について 千曲市「いじめ」等防止対策連絡会議要綱を廃止する告示について 千曲市U・I・Jターナー者向け奨学金償還優遇制度事業助成金交付要綱の一部を改正する告示について
	報告	21 22 23 24 25	部活動の地域移行について 令和4年7月20日千曲市議会委員会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 9月の各課の行事予定について
第6回定例会 (R4.9.29)	議案	20 21	千曲市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について 職員の人事について
	専決	3	職員の処分について
	報告	26 27 28 29 30	令和4年8月23日千曲市議会委員会報告について 令和4年9月千曲市議会定例会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 10月の各課の行事予定について

第7回定例会 (R4. 10. 26)	議案	22	千曲市教育振興審議会委員の委嘱について
		23	令和4年度(9月補正)教育施設工事・修繕計画調書について
	専決	4	職員の処分について
第8回定例会 (R4. 11. 24)	議案	24	令和4年度教育委員会事務の点検及び評価報告書(令和3年度実績)
		25	令和4年度千曲市一般会計(第6号補正)教育関係予算について
		26	千曲市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について
27		地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会訓令の整備に関する訓令について	
28		千曲市博物館条例の一部を改正する条例について	
29		千曲市博物館条例施行規則の一部を改正する規則について	
30		千曲市博物館条例に規定する千曲市武水別神社神官松田邸所蔵資料の取扱いに関する規則について	
31		千曲市博物館等における共通観覧券の発行に関する条例の一部を改正する条例について	
報告	32	千曲市博物館等における共通観覧券の発行に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	
	35	令和4年10月31日千曲市議会委員会報告について	
	36	教育長、部長・課長報告について	
	37	行事の共催・後援について	
第9回定例会 (R4. 12. 21)	報告	38	12月の各課の行事予定について
		39	令和4年12月千曲市議会定例会報告について
		40	教育長、部・課長報告について
		41	行事の共催・後援について
		42	1月の各課の行事予定について
第10回定例会 (R5. 1. 26)	議案	33	千曲市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
		34	千曲市いじめ問題調査対策委員会委員の委嘱について
		35	千曲市公民館運営審議会委員の委嘱について
	報告	43	教育長、部・課長報告について
		44	行事の共催・後援について
		45	2月の各課の行事予定について

第11回定例会 (R5. 2. 22)	議案	36 37 38 39 40 41	令和5年度小・中学校学級編制届出書の提出について 千曲市立学校の学期について 令和4年度千曲市一般会計（第8号補正）教育関係予算について 令和5年度千曲市一般会計教育関係当初予算について 千曲市文化財保存活用地域計画協議会条例制定について 千曲市文化財保存活用地域計画作成協議会要綱を廃止する告示について
	報告	46 47 48 49 50 51	令和5年2月15日千曲市議会委員会報告について 学校における食物アレルギー対応の手引きについて 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 3月の各課の行事予定について 更埴体育館外5施設指定管理者物価高騰対策補助金交付要領について
第12回臨時会 (R5. 3. 6)	議案	42	令和5年度教職員人事の内申について
第13回定例会 (R5. 3. 30)	議案	43 44 45 46 47 48 49 50	令和5年度教育行政の基本方針について 千曲市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について 千曲市青少年問題等庁内連絡会議規程の一部を改正する訓令について 千曲市教職員自家用車の公務使用取扱規程の一部を改正する訓令について 千曲市U・I・Jターン者向け奨学金償還優遇制度事業助成金交付要綱を廃止する告示について 千曲市公民館正副館長の任命について スポーツ推進委員の委嘱について 職員の人事について
	報告	52 53 54 55 56 57 58 59	令和5年度千曲市教育委員会施設長について 千曲市少年育成センター少年補導委員の退任について 千曲市総合運動公園基本構想について 令和5年2月21日総合運動公園等に関する特別委員会報告について 令和5年3月千曲市議会定例会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 4月の各課の行事予定について

(4) 教育委員会事務分掌（「令和4年度教育要覧」から）

事務局		(R4.4.1 現在)	
教育総務課	総務係	教育行政に係る企画及び連絡調整 教育財産管理 奨学金の貸与 学校医の委嘱 寄附採納 表彰及び褒賞 物品及び公印の取扱い・文書の收受 教育委員会の庶務関係 姉妹都市児童交流事業 U・I・J ターン者向け奨学金償還優遇制度事業助成金交付部・課の庶務関係	教職員の任免、内申その他人事 教育振興基本計画の進行管理 教育行政相談 教育委員会の組織及び会議 教育委員会の広報公聴 職員の人事と給与 教育予算の調整と経理 規則の制定改廃 教育委員会の会議
	学校教育係	教科用図書採択関係 中学校部活動改革 学校の組織編成及び学校運営 教育課程関係 学齢簿の整理 児童生徒の就学 学校職員の研修 生徒指導関係 情報教育、国際理解教育、小学校外国語活動 不登校対策、その他教育相談、就学相談等（教育相談室） 学校職員及び児童生徒の福利、保健安全厚生	就学援助 教職員住宅管理 学校予算及び財務会計 学習指導、教育活動 特別支援教育 義務教育関係補助金 教科書給与事務 外国語指導助手の任用
	教育施設係	学校の設置及び廃止、財産の管理 学校施設及び学校財産の維持管理 教職員住宅解体、撤去	学校改築、大規模改造工事 学校施設及び設備の整備、修繕 学校環境衛生
生涯学習課	生涯学習係	生涯学習基本構想・基本計画の推進 生涯学習の専門的事項等の調査研究等 水辺の楽校の運営 社会教育委員及び同会議 社会教育施設の設置、整備、管理、廃止、財産の管理 学校教育と社会教育の連携 公民館、図書館との連絡調整 生涯学習人材バンクの整備 青少年事業の推進 青少年対策に係る施策の企画及び連絡調整 子どもの居場所づくり事業 地域未来塾事業 多文化共生に係る事業 原体験の森宿泊研修施設の管理運営 坊城平いこいの森施設の管理運営	生涯学習推進本部の庶務 生涯学習出前講座事業 生活運動の推進 社会教育団体の育成 家庭教育支援事業の推進 公民館分館建設事業補助金 少年育成センター事業の推進 青少年教育団体との連絡調整 放課後こども教室事業の推進 国際理解・国際交流に係る事業の推進 東京オリンピックホストタウン事業の推進

スポーツ振興課	スポーツ振興係	社会体育及びスポーツ振興 体育大会、スポーツ教室等の開催と奨励	スポーツ団体等の育成指導 レクリエーション等の企画立案指導
	施設整備係	社会体育施設の維持管理運営 社会体育施設・緑地公園内体育施設・学校体育施設予約システム管理運用 災害復旧事業	緑地公園内体育施設等の維持管理運営
	国民スポーツ大会準備係	第82回国民スポーツ大会中央競技団体正規視察の準備、対応 第82回国民スポーツ大会、第27回全国障害者スポーツ大会の啓発 ホッパ競技の普及、審判員の育成支援	
学校給食センター	管理係	物資の調達及び経理 所要栄養量、食品構成表及び献立作成並びに各種報告 学校給食の向上に必要な調査及び指導、研修 調理、衛生管理及び検食の指導	施設整備及び労務管理並びに衛生管理 学校給食費徴収事務
	調理係	調理指導及び衛生指導 配送計画及び指示 調理用機械設備、器具類の維持管理	調理班の指導監督及び給食調理 物資の検収、管理及び保管 アレルギー給食対応
文化課	文化振興係	化芸術振興事業計画及び実施 文化芸術団体及び関係機関等の連絡調整	文化施設等の管理運営 その他文化芸術の振興
歴史文化財センター	文化財係	文化財の調査、保護、活用 埋蔵文化財の調査、保存、活用 城山史跡公園、智識の杜公園等、文化財施設管理運営 他文化財収蔵施設の維持管理	文化財保護審議会、文化財調査員等 所蔵資料の整理、活用

教育機関・施設			
総合教育センター		児童生徒の教育にかかわる相談 教育相談に関する各機関との連絡 GIGA スクールの推進 教職員研修事業の実施 キャリア教育の推進及び支援 千曲型コミュニティスクールの推進及び支援	就学相談・就学判断 学力向上等教育課題の調査研究 教育課程の改善研究 施設の維持管理運営
公民館	業務係	社会教育事業の計画実施 生涯学習の推進 人権教育の推進 家庭教育支援事業の計画実施	社会教育関係団体との連絡 その他公民館活動の普及浸透 青少年健全育成事業
原体験の森宿泊研修施設		施設の管理運営	
坊城平いこいの森		施設の維持管理	
図書館	業務係	施設の維持管理 図書館協議会 図書資料の購入・利用事務	読書活動推進事業の企画運営 子ども読書活動推進事業の実施 読書相談、指導
戸倉創造館	業務係	施設の管理運営 文化芸術活動の支援	文化情報収集及び広報宣伝 舞台業務

更埴文化会館	庶務係	更埴、上山田文化会館の庶務	
	業務係	施設の管理運営 文化情報収集及び広報宣伝 舞台業務	自主事業の企画運営 文化芸術活動の支援 屋代駅市民ギャラリーの展示運営
上山田文化会館	業務係	施設の管理運営 文化情報収集及び広報宣伝	自主事業の企画運営 文化芸術活動の支援 舞台業務
森将軍塚古墳館	学芸係	森将軍塚古墳館	科野の里歴史公園の管理運営
さらしなの里歴史資料館	学芸係	さらしなの里歴史資料館	古代体験パークの管理運営